



2019-2020 年度 藤沢ロータリークラブ週報

2019-2020 年度 RI テーマ



第 2780 地区
ガバナー

杉岡 芳樹

第 3 グループガバナー補佐

渡邊 昭

■創立 / 昭和 29 年 6 月 3 日
 ■第 66 代 会長 / 藤田 浩二 幹事 / 吉野 貴美
 ■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com
 ■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
 ■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 7 第 3172 例会 2019 年 8 月 28 日 天候 雨

ロータリーソング「手に手つないで」
 四つのテスト 茂谷 浩子 会員

《ゲスト・ビジターの紹介》

ビジター：出村 忠廣 様（横浜東 RC）

《会長報告》

- ・藤田現会長のご都合で、直前会長の大小原が本日代理を務めます。
- ・先週は、3 クラブ合同の夜間例会がございました。多くのゲストとイベントで大変盛り上がりしました。
- ・第 3 グループの「かながわ 2780 ロータリーE クラブ」の名称が変更になりました。新名称は、「アークス湘南ロータリークラブ」です。引き続き、WEB でメイクアップができますが、サイトアドレスが変更となっておりますので、ご注意ください。受付でご案内を用意いたしておりますので、お声がけ下さい。
- ・9 月 25 日（水）はガバナー公式訪問です。ご予約下さい。

《幹事報告》

- ・10 月 20 日（日）、地区大会のご出欠をうかがっております。お返事がまだの方は、事務局にお知らせください。

《委員会報告》

- ・広島 広報・雑誌委員長
 「ロータリーの友」8 月号のご紹介をいたします。P20-21 に青少年交換研修の記事が掲載されて当クラブより椋梨先生が、ご出席です。P49、3 月に開催されました地区新会員の集いの記事が載っております。あわせてご覧ください。
 8 月 10 日、インターアクト委員会と BBQ 大会に出席しました。杉岡ガバナー、藤田会長もご出席で、盛り上がりしました。
- ・泉会員より
 小島様の奥様よりお礼のお電話をいただきました。長年、米山学生のお世話をさせていただけたのも、奥様のご協力があったことと存じます。小島様が名誉会員として、残ってくださったことに感謝致します。

出席報告 ()内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
8月7日	44(43)名	23名	20名	53. 49%	3名	26名	60. 47%
8月28日	44(43)名	28名	15名	65. 12%			

《お祝い》

会員誕生日 7月19日 茂谷 浩子 会員
8月29日 児玉 聡 会員
8月31日 鈴木 隆一 会員
8月31日 新堀 きよみ 会員
9月3日 毛利 英昭 会員



結婚記念日 6月5日 毛利 英昭 会員



毛利会員 大小原年度のお祝いでした

《スマイル報告》

横浜東 RC 出村 忠廣 様

本日は、お世話になります。

今井 重信 会員

8月はアレコレ休みました。すみません。

9がつは真面目に出ます。

泉 信子 会員

橋本様、卓話たのしみにいたして居ります。

児玉 聡 会員

誕生日祝、ありがとうございます。

鈴木 隆一 会員

お誕生日のお祝いありがとうございました。

毛利 英昭 会員

お祝いありがとうございました。

茂谷 浩子 会員

誕生日お祝いいいただき、ありがとうございます。
今後とも、よろしくお願ひします。

《小話 3分間スピーチ》

川上 彰久 会員



ラグビーをテーマにしたテレビドラマの「ノーサイドゲーム」をご存知でしょうか。そこに出演中の廣瀬さんがご近所に住んでいます。藤沢に住むきっかけは、見学に来た時、「ようこそいらっしゃいました」「こんにちわ」と気さくに声をかけてくれた方がいたからだと思います。ご近所ということで、その声をかけた方は、田中さんではないかと思っています。

私、趣味がありませんが、3年半、書道が続けています。なぜ書道かと申しますと、武田双雲さんに会社の名前を書いてもらおうと思ったのですが、自分で上手くなり、書いたほうが想い入れがあって良いのではないかとということで、一念発起して始めました。双雲さんはもうに弟子を取っておりませんので、双雲さんの一番弟子さんの教室に通っております。現在、準初段になりました。これから、「書道」と「習字」の違いについてお話したかったのですが、お時間となってしまいましたので、続きはまたの機会に致します。

《卓話》

『イニシエーションスピーチ』

三井住友信託銀行

藤沢支店兼藤沢中央支店

支店長 橋本 憲明 会員

(紹介者：田島 義隆 会員)



田島会員より、橋本会員のご紹介

橋本会員が以前いらした小田原 RC に田島会員のお仲間がいらして、ご推薦があったとのこと。



橋本です。ロータリー歴は小田原 RC に続き 2 つ目となりますが、藤沢 RC の例会は自由闊達でフリーダム、司会交代制も含め個性豊かで芸達者、皆さん話も上手で小田原 RC よりも楽しい雰囲気を実感。聞いている分には楽しいのですが、スピーチの機会も多くプレッシャーを感じています。

本日は、「私の履歴書」、「信託銀行・信託ビジネスとは」、「私とロータリー」の 3 部構成で進めていきます。

生まれは北海道、父親は高校教師の 4 人家族の次男坊。雪国育ちで、防風林の北側（反対側）で吹雪・寒風をモロに受ける場所で育ちました。小学校時代は野球少年、中学時代は何故か 1 年生から小遣い稼ぎで新聞配達のアルバイト、高校時代は幼少期から大のプロレス好きが高じてプロレス研究会を立ち上げました。当時はプロレス大ブームの時で、文化祭では最も観客を集め盛り上がったイベントを企画、自らも当時人気絶頂のタイガーマスク、、、ではなくその敵役（小林邦昭、ブラックタイガー）。

大学受験には失敗、理系から文系に転じ、麻雀仲間やプロレス仲間とつまらないよう、独り暮らしの宅浪で、周囲との音信をシャットアウトするストイックな 1 年間を経て、慶応大学に合格。やはり『プロレス研究会』に入り、リングネームはユンケル橋本、同期のサモン中野君と「パワフルドリンクブラザーズ」を結成しましたが、段々色気づいたのか、「慶応ボーイになれたのに、素顔を晒して裸になって何やってるんだ俺は」と途中で退部し、ゴルフ同好会に入り、楽しい大学生生活を満喫しました。

職歴は、バブル時代に三井信託銀行の横浜の支店に入社、バブル崩壊後は一貫して本部で、不良債権問題から金融不安、公的資金注入、金融再編による大リストラの激変時代において、融資企画の資金担当として取付騒ぎ時の企業向け融資回収（所謂貸し渋り）、店舗担当として 100 ヶ店近くの店舗統廃合、人事部時代には 5 年間で社員を 1 万人から 5000 人に削減する大リストラを断行と、相当シビアな世界を生き抜いてきました。その後晴れて現場に飛び出した営業部の課長時代には、リーマンショックによる市場混乱、また東日本大震災時に原発問題の真っ只中にあった東京電力やコンビナートが大炎上した石油会社を担当するなど、振り返ってみると私が行くところには何かが起こる、まさに疫病神のような会社人生ですね。

その後、住友信託銀行との経営統合を控え本部に戻され、統合前後の激しい闘争で身も心もズタズタになり、7年前から営業店に転じ現在に至ります。

2. 米山梅吉翁とロータリークラブ

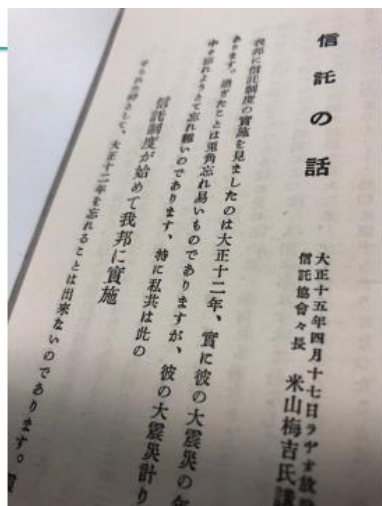
- 三井住友信託銀行の源流の一つである三井信託の創業者「米山梅吉」は、三井銀行常務取締役であった時分の数度に亘る訪米の折、ロータリークラブの存在を知り、その「奉仕」という理念に共感しました。そして、我が国における最初のロータリークラブである「東京ロータリークラブ」のチャーターメンバー募集に貢献し、その初代会長に就任しました。
- また、米山翁は、同じ訪米の際に関心を抱いた、「財産管理を使命とする信託業務」の我が国での定着及び安定的執行のため、財閥資本を背景とした三井信託を創設しました。なお、三井信託の定款には、社会貢献を最大のビジネス領域の拡大を誓う「奉仕」と同社の精神が明記されており、この精神は、現在の三井住友信託銀行の行動規範にも引き継がれています。

ロータリアンとして	経営者として
<ul style="list-style-type: none"> 1920年 東京ロータリークラブ創立に貢献 初代会長就任（幹事・後援者3名） 1924～1927年 Special Commissioner就任 1927～1931年 地区ガバナー就任 クラブの拡大に貢献 1932年 東京ロータリークラブは米山梅吉翁の功績を 記念し、「米山梅吉翁賞」を創設し、 「奉仕がロータリー半ば以上を占めます」 	<ul style="list-style-type: none"> 1897年 三井銀行入行 1905年 三井銀行常務取締役就任 数度に亘る訪米の折、以下に続く 「ロータリー」の奉仕という理念 ・信託業務による財産管理 1923年 三井銀行常務取締役 就任 1924年 三井信託設立 初代会長就任 定期に奉仕と財閥の精神を明記 1934年 三井信託社長 就任 三井信託会長 専任就任

米山梅吉翁
1869～1946年
『三井銀行50年史』より

三井住友信託銀行においても、上述の精神を「奉仕精神」の行動規範の一つとして継承

三井住友信託銀行は、よく誤解されますがメガの三井住友銀行とはグループが異なり、唯一の信託専門の信託銀行です。日本のロータリーの祖である米山梅吉翁は、“信託の祖”との別称があるとおおり、三井信託銀行の初代社長です（写真）。三井の本館（日本橋営業部）には、当時の社長室がそのまま現存しています。米山梅吉先生が大正15年にラジオ講座をした「信託の話」の貴重な冊子（写真）もあります。奉仕の精神は、ロータリーと信託銀行の共通テーマです。



信託銀行の業務は、平たくいうと、一般の銀行業務に加え信託業務、つまり金融以外の資産管理全般。企業なら年金や証券代行等、個人なら相続や不動産関係等、資産全体にかかる各種コンサルやソリューションです。人生100年時代でニーズも多様化しており、例えば相続関連では、旧来の遺言や遺産整理だけでなく、相続対策の生前贈与や資産活用、各種後見関連、認知症に備えた支払機能に係る信託等、お客様のニーズに応じてメニューも多様化しています。

何故相続が問題になるか。日本特有の家督相続（長男が家業や自宅を承継）の文化が残る中、戦後の民法改正で現状は法定相続が遺産分割の前提となっている点にあります。例えば、サザエさん（磯野家）の20年後を考えてみましょう。桜新町の自宅は約100坪で資産価値約2億円、仮に金融資産が5千万だとすると、自宅を承継するであろうサザエさんが財産の大半をもらうことになり、それにカツオは不公平だと承知しない、ワカメの亭主が権利を主張するかもしれない、そうなったら自宅を分割するか売却して代償分割しなければならない、それを親が亡くなり子供達だけで協議すると、あの仲の良いサザエさん家族が一気に崩壊しかねません。また、仮に分割に見合う金融資産があったとしても、今度も相続税の負担が重くのしかかり、自宅を売却して納税資金を捻出しなければならなくなる、、、事前に遺言書や生前贈与等の対策を取っておかないと残された家族に大変な負担をかけるかもしれないので、そうならないよう予め対策を練りましょう、そういった相談を受けあらゆる引き出しを駆使してお手伝いをしています。

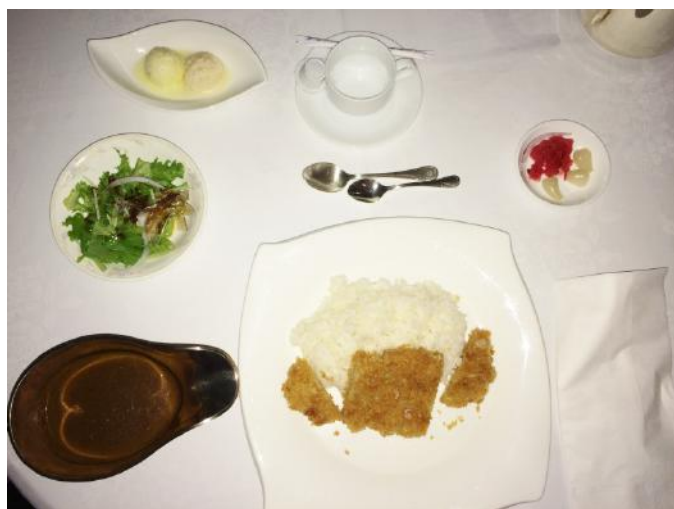


最後に「私とロータリー」ですが、会社としてそして個人として、地域社会への関わり、地元の方との交流を深めることができるロータリークラブは、とても貴重な場です。通勤族ですが、折角この藤沢で勤務する機会を得たので、どっぷりこの地区、またロータリーに浸かって充実した藤沢ライフ・ロータリーライフをエンジョイしたいと思いますし、地域の発展およびロータリー活動の活性化に貢献できればと考えています。これから、どうぞよろしく願い申し上げます。



大小原直前会長より謝辞

本日のお料理



カツカレー デザートはアイスクリームでした



横浜東 RC 出村様
いつもありがとうございます。



ホテルエントランスホールのお花



本日は、お誕生日のお祝いが5名さまでした。
バースデイソングの大合唱！！